

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

税金は笑顔をくれる

郡山市立富田中学校

2年 岡田 彩音

税金は私たちに笑顔をくれる大切なもの。私が税金に対してこう思うようになったのはつい最近のことです。

今年の夏、大雨による川の氾濫などで、西日本を中心に大きな被害がでました。私はこのとき、ニュースで被災した人の元へ救援物資がたくさん運ばれているのを見ました。そのとき、その救援物資を受け取った人の中には「ありがたい」と大変な状況の中でも、笑顔を浮かべる人もいました。その後、ああいった救援物資にかかるお金は誰が払っているのだろうと疑問に思い、調べてみると、各地で集められる募金の他にも、税金が使われていることを知りました。思い返してみれば、東日本大震災によって、私が住む福島県は大きな被害を受けました。震災直後は外で遊べなかったり、登下校のときにはマスクをつけなければいけなかったりと、大変な思いをしました。しかし、今私が住んでいる所は、過去に震災があったことを感じさせないほど復興し、外でも元気に遊べるようになりました。このように、私たちの地域がこんなに復興できたのは、土壌の除染作業などにかかるお金を出してくれた税金のおかげでもあると思います。もし、税金がなく、福島県が復興できていなかったとしたら、私たちは今も安心して外で遊べなくなっていたかもしれないし、避難生活をしている人も今よりももっと多くなっていたと思います。このような災害の他にも、税金は警察署や消防署、病院、そして私たちの教育費にも使われています。こう考えてみると、税金は私たちの身の回りのことにたくさん使われていて、私たち

国民の安心・安全を守り、笑顔にしてくれていることが分かります。

私が今払っている税金といえば、消費税くらいしかありません。そのため、私は小学生のときは税金のことをよく分かっていませんでした。だから、普段私たちが使っている教科書の裏に「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」と書かれていることは知っていましたが、その意味をよく分かっておらず、落書きをしてしまうこともありました。しかし、中学生になって、税金の大切さが分かるようになってからは、教科書はもちろん、その他の税金によって作られているものも、大切に使うようになりました。

今、国で決められている三つの義務の中に「納税の義務」があります。だから、税金を納めるときに「ちょっと高いな。」「できれば払いたくないな。」などと思っても、義務だから仕方ないと納めている人も多いのではないのでしょうか。しかし、税金は結局、巡り巡って、違った形で私たちを笑顔にさせています。だから、これから税金を納めるときには、国のため、自分のため、と思って、しっかり納税したいです。